



お茶会だより 4月号

H30.4.24(火)

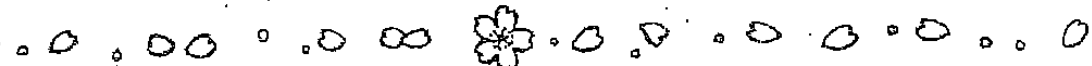
4月、そり組になつて子ども達が楽しみにしていたことの
一つにお茶会があります。今度は僕たち、私たちの番と
期待に胸を膨らませて参加した。第一回目となりました。

年間を通してお茶会だよりにて子ども達の様子をお伝えし
いきにいと思います。

==== お茶の先生 茶道裏千家淡交会 準教授 =====
植田幸子 先生 (茶名～宗幸)
==== 一年間、子ども達の指導として下さいます。 =====

・床の間～掛け軸「薫風」・花～ホトケ、ニリンソウ

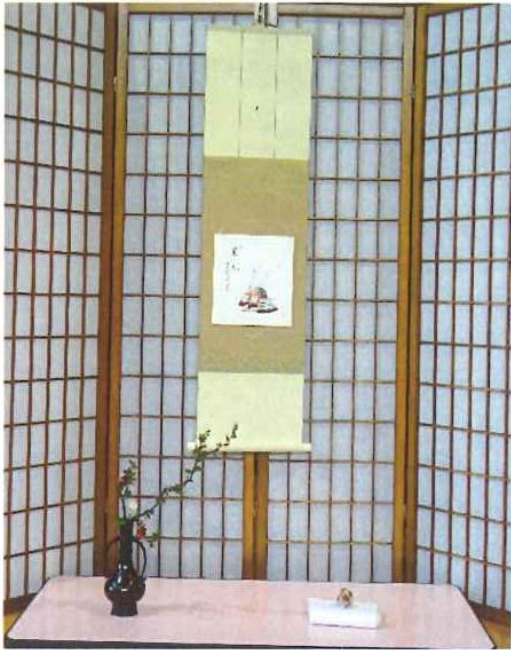
・置き物～香合、おしどり、お菓子～えくぼまんじゅう



お床拜見で植田先生のお話を聞き、静寂の中でお点前拜見。
子ども達は初めて見る植田先生のお点前、その動作の一つ一つに、
まるで息を止まらしているかのように見入っていました。

お稽古では立ち振る舞い、作法を学びお茶を点て、お運びをし
水屋役を初体験しました。子ども達の中にはあんなにかきずな子も
おりましたか、「今まで食べたあんなの中で一番おいしい」と皆へっぴり！
お茶会に臨む子ども達の心がほえと、お茶席の雰囲気、お茶のほしのび...
環境の大切さを改めて感じたひとときでした。これから一年間、程
よい緊張感の中で茶道にふれ、親しんでいきにいと思います。

【今月の床の間】



【植田先生とのお挨拶】

「うえた さちこ先生だよね。」と、すでに先生の名前も覚え、この日をウキウキと心待ちにしていた子ども達。お茶室に入る時から、さすがに緊張感が漂い、引き締まった表情になっていました。



《掛け軸》～かぶと 《香合》～おしどり
 《茶花》～ぼけ・二輪草
 《茶菓子》～えくぼ饅頭



今月、一緒にお稽古に参加してくれたのは、佐藤恵美子さん（日菜ちゃんのお祖母ちゃん）と佐藤まき子さん。

子ども達の緊張感に、感心されていました。

【植田先生のお点前を拝見】

お道具も動きも、すべてが初めて見る物ばかりで、子ども達も目が離れませんでした。



【お稽古の様子】



お茶って
 楽しいね！



お道具の扱い方や挨拶、所作など、初めての事も多いですが、子ども達の一生懸命さと意欲が伝わってくるお稽古でした。